

第1回 地域密着型サービス高齢者在宅サービスセンターふれあい
運営推進会議 議事録

開催日時	令和5年6月12日（月） 13時30分～14時20分
開催場所	国分寺市高齢者在宅サービスセンターふれあいデイルーム
参加者	■■■利用者・家族 ■■■地域住民の代表（老人クラブ） ■■■地域住民の代表（ボランティア） ■■■地域住民の代表（ボランティア） ■■■地域の有識者（ケアマネジャー） ■■■国分寺市福祉部高齢福祉課
出席職員	中村管理者、■■■係長、■■■主任、■■■相談員
司会進行	中村管理者
議事録	中村管理者

1 当日の次第

- (1) 開会のあいさつ 中村管理者
- (2) 出席者の自己紹介
- (3) 活動状況の報告
- (4) ヒヤリハットや事故等の報告及び今後の予防策
- (5) 出席者からの活動状況報告、ご意見
- (6) 意見交換、質疑応答
- (7) その他
- (8) 閉会のあいさつ ■■■係長

2 活動状況の報告

- 令和4年度実績について、令和4年度当初より、定員を24名から15名に変更し、定員が18名以下であるため、地域密着型通所介護施設となっている。稼働率は59%で令和3年度の60%とあまり変わりはないが、利用者数は2,573人であり、3年度の4,138人に対し大きく減少している。その代わりに通所リハビリテーションの利用者が増加している。通所介護のニーズもあり、引き続き利用稼働率の向上も図りたい。
- 新型コロナウイルスの状況は、罹ってしまった利用者が4名いるが、回復して来所されている方もいる。引き続き感染対策を行っていく。コロナ以外にも微熱や体調不良の方も出ており、来所後、熱がある方は早退の対応を取っている。その際、病院受診や状態によってはPCR検査などもお願いしている。職員については、週1回のPCR検査と抗原検査、毎朝の検温を実施している。
- 行事については、デイでは年3回（7・9・3月）の行事があり、7月が夏祭りになる。今年度もご家族の来所は控えていただき、利用者と職員で行う。午前中はカラオケ、ヨーヨー釣りなど、午後は太鼓、盆踊り、余興、ジャンケン大会など、時間があれば利用者に太鼓を叩いていただく体験会もやりたいと考えている。

〈別紙3〉運営推進会議（介護・医療連携推進会議）の議事録

- ・移乗サポートロボット「Hug」については、市で予算化していただき4月から導入された。入浴やトイレで立位が難しい方に使用している。今まで職員が抱えるなどして2人介助していたが、Hug が導入されたことで、職員、利用者の負担軽減となった。使用にあたって職員で勉強会をし、実際に練習・体験を繰り返し、使えるようになってきている。現在、Hug を使用している方は通所全部で6名、痛いという声も聞かれず、安全に行えている。一人ひとりの身体に合わせマニュアルを作り対応している。
- ・ボランティア活動は、コロナの状況を見つつ、再開に向け検討している。現在は、以前に来ていただいていた方などへ声かけをしている。園芸ボランティアの皆様には、いずみプラザの大規模改修があることで、お願いは難しいところであるが、別の形でお願いできることがあればお願いしたいと考えている。また、早実の中学生によるボランティアも現在予定している。
- ・中学校の職場体験学習について、今年度再開を予定している。中学校5校によるものであり、各校3日程度を予定している。現在は、1中からの申し込みがされている。with コロナということも考えながら進めていく必要があると思っている。

3 ヒヤリハットや事故等の報告及び今後の予防策

- ・2件のヒヤリハットが出ている。1件は、入浴時に発生したもので、体調やバイタル等により看護師の指示があり、短め入湯とすべきところ、通常入湯としてしまった職員ミスによるもの。2件目は、送迎時の荷物の受け渡し忘れであり、同様に職員によるチェック漏れである。対策は、職員による確認を徹底することにより、予防していくこととしている。

4 出席者からの活動状況等報告、ご意見

（家族）

- ・ボランティア受入れについて、早実の中学生が来るという話は聞いたが、詩吟や合唱などのボランティアは来ていただけるのか。
⇒多くの方に声かけをしているところであるが、詩吟や合唱はまだ決まっていない。引き続き声かけをしていきたい。

（地域住民の代表）

○老人クラブ

- ・特になし。

○ボランティア

- ・外作業（園芸）ができないので、中でできることがあれば考えてみたい。

（有識者 ケアマネ）

- ・職場体験学習は何人くらいが参加するのか。
⇒1校3日程度で、1日当たり3～5人程度を予定している。
- ・職場体験学習は、自分も担当した経験があるが、自分は掃除から始めてもらった。何をやってもらうのか明確にしておくことも大事だと思う。特にコロナで動けなかった3年ということもあり、今回は何をやってもらうのか。
⇒浴室や送迎車の清掃、レクリエーションへの参加、利用者と対話してもらうことを考

えている。

- 職場体験学習の参加者は、これからを担ってくれる大事な方なので、つらいところばかりでなく、楽しいところもみてもらえるようにしていただきたい。

（市）

- 今年度と来年度の2年間は、いずみプラザの大規模改修が行われるため、皆様にはご迷惑をかけることになるがご理解願いたい。

5 意見交換、質疑応答

（地域住民の代表）

- ボランティア活動などもやったことがない人もいる。施設の見学会などの実施も検討していただきたい。
- 今は、自治会でのコミュニケーションがなくなってきている。自治会内の後継者不足という課題もあり、非常に厳しい状況にある。
⇒自治会が難しい状況にあることも承知している。この会議の参加についても地域の方に声かけをさせていただいているが、非常に難しい状況にある。引き続き地域との関係ができるよう、声かけもしていきたい。

（地域住民の代表）

- 介護認定を受けていない方が利用できるサービスがあると聞いたことがあるが。
⇒ふれあいは、地域密着型通所介護（介護認定を受けている方）と通所サービスA（要支援も可、1名枠）という形になっているため、利用はできないものとなる。
⇒（有識者）民間施設等によっては、認定を受けていない方を受け入れる横出しサービスといったものをやっているところもある。

6 その他

（ふれあい）

- 今年度は、このメンバーで12月もお願いしたいと考えている。
⇒承知した。
- 引き続きご協力とご理解をよろしくお願いいたします。

*会議終了後、推進会議構成員の希望者4名による「Hug」体験を実施。